

施工については、必ず製品に同梱の施工説明書に従って正しく施工してください。

R-Design

C-Design

木質床材

一般住宅

マンション
直貼り

リフォーム
向け

衝撃吸収
床材

天然木
フロア

化粧シート
フロア

根太施工

二重床施工

捨貼り施工

防音・直貼り

直貼り

上貼り

框・式台

階段・手摺・
室内はしご

内壁材

あかり
サポート

ぬれ縁

ラスカット

構造用
ハイベストウッド

P&C-MJ
SYSTEM

設計・施工
資料編

性能表示マークについて

すべりにくい

ペット対応【汚れ】

防 音

トイレ対応

抗ウイルス

抗 菌

ワックス不要

耐 汚 れ

耐車イス

耐凹みキズ

耐擦りキズ

耐電気カーペット

クラックレス

床暖房対応

すべりにくい

すべりにくいについて

- この製品はペットの歩行に配慮したすべり抵抗に設定していますが、すべてのペット(犬・猫)の歩行に適しているとは限りませんのでご注意ください。またペットが走り回る場合はすべることがありますのでご注意ください。
- 本製品と他のフロアを施工した場合、すべりの違いにより歩行感覚が変わり、つまずいたり転倒するおそれがありますのでご注意ください。
- 肉球まわりの毛や爪の手入れを怠ると歩行時でもすべる危険がありますのでご注意ください。

ペット対応【汚れ】

ペット対応【汚れ】について

- ペットによるおしっこ(アンモニア等)の汚れに強い床材ですが、長時間放置されますとフロア表面に問題が生じる場合があります。すぐに固く絞った雑巾等できれいに拭き取ってください。
- キズが全くつかないわけではありません。ペットによってはキズがつく場合がありますのでご注意ください。

防 音

防音について

- 防音直貼りの床材は防音性能を高めるために、裏側に特殊クッション材を使用しています。そのため、一般の床材と比べると歩いたときに柔らかく沈むような感じがします。これは防音性能を得るための構造上ある程度やむを得ない現象です。

トイレ対応

トイレ対応について

- トイレ・サニタリー空間に施工される場合は、必ずかん合部と壁際、配管まわりのフロアの木口面にシーリング処理をしてください。溝付きのフロアは、溝部もシーリング処理をしてください。

ワックス不要

ワックス不要について

- ワックスがけをしなくても日頃のお手入れで充分です。
- 日頃のお手入れはゴミやほこりを取り除き、乾いた雑巾やモップで拭いてください。乾拭きで落ちない汚れは、固く絞った雑巾で汚れを拭き取ってください。また、汚れに応じて中性洗剤やアルコール等を使用して拭き取ってください。
- キズがついてしまった場合や軽微なツヤムラがある場合、また長期的にご使用後はP.57に記載の推奨ワックスを塗布してください。

ワックスがけされますと、フロア表面の艶・手触り感等の美観は本来の製品とは異なり、またフロア表面がワックスの性能になりますので、ご理解の上ワックスを塗布してください。

■抗ウイルス対応フロアについて

- 抗ウイルス対応フロアの表面が汚れていると抗ウイルス効果は発揮されません。
- ワックスがけされますと表面がワックスの性能になりますので抗ウイルス効果は発揮されません。

耐 汚 れ

耐汚れについて

- 水やコーヒー、醤油、薬品等をこぼした場合はすぐに拭き取ってください。経過時間によりシミ・色落ち等の原因になります。

全フロア対象のご注意

水ぬれ・湿気のご注意

※天然木フロアの表面化粧単板は水分により変色する場合があります。樹種により顕著に発生することがあります。湿った下地には絶対に施工しないでください。
※化粧シートフロアの表面は水分により凹凸、シワ等が発生する場合があります。湿った下地には絶対に施工しないでください。
※結露または湿気の多い環境での施工は、結露対策をおこなってください。

引き渡し前の木質床材クリーニングについてのご注意

参照 P.56を必ず参照ください。

弊社はハウスクリーニングによるトラブルについて責任を負いかねますのでご承知おきください。

根太工法対応のフロアであっても、コンクリートこぼし根太、ネダフォームでの施工は避けてください。その他の工法への対応については、弊社までお問い合わせください。

糊釘併用施工のフロアは指定接着剤と釘の併用施工です。接着剤や釘を使用しないで施工した場合、変形や床鳴り等が発生するおそれがあります。施工については必ず、同梱の施工説明書に従って正しく施工してください。

耐車イス

耐車イスについて

- 屋外からご使用になった車イスを乗り入れた際、付着した土砂のため床表面にキズがつくことがあります。付着した土砂はよく取り除いてください。

耐凹みキズ

耐凹みキズについて

- 耐凹みキズ対応フロアであっても、キャスターの繰り返しのご使用や、材質・形状等の条件によってはキズや汚れがつく場合がありますのでご注意ください。
- キャスター使用頻度の高い場所では、カーペット等を敷いて保護してください。
- 球状、および金属製キャスターの使用は避けてください。

耐擦りキズ

耐擦りキズについて

- 使い方や足先の材質・形状によってはキズがつく場合がありますのでご注意ください。(キズが全くつかないというわけではありません。弊社一般フロアと比較してキズがつきにくい床材です。)濃色系のフロアは、淡色系のフロアより同じ程度のキズでも目立つ場合がありますのでご了承ください。イス、テーブル等、移動する家具の脚にフェルトまたはフェルト付きのキャップ等で保護することをおすすめします。

推奨品 和気産業(株):ワイドフェルトキャップ
ワイドフェルトキャップスリム
底面がフッ素樹脂製もございます。
すべりにくいフロアには底面が
フッ素樹脂製をおすすめします。
<https://www.isu-shizuka.com/>

耐電気カーペット

耐電気カーペットについて

- 電気カーペットをご使用の際は、長期間のご使用や使用条件によりひび割れやすき間が発生するおそれがありますので床材との間に断熱性のあるシートやカーペットを敷いて保護してください。ご使用時は、シートやカーペットの注意事項に従ってください。

クラックレス

クラックレスについて

- 窓際等で長時間直射日光があたりますと、床表面に日焼けによる変色やクラック(ひび割れ)が起きる場合があります。カーテンやブラインド等で遮って、直射日光からフロアを保護してください。尚、直射日光があたりやすいカーテンやブラインドの下部は、フロアの種類に関わらず著しい変色やクラック(ひび割れ)が発生しやすいのでマット等で保護することをおすすめします。ご使用時は、マット等の注意事項に従ってください。

床暖房対応

床暖房対応について

- 床暖房へのご使用の際は、加熱による乾燥で木材が収縮し、すき間が発生するおそれがあります。
- 床暖房対応ですが、電気式フィルムヒーターには対応しません。P.42を参照ください。**
- 床暖房部分に箱物の家具を置いたり、座布団、布団を長時間敷かないでください。またコタツやカーペット類(電気カーペットや断熱性のあるシート含む)との併用は避けてください。こもり熱により床表面をいためたり、目隙が発生するおそれがあります。床暖房部分にソファ等置く場合は、脚付きの物をご使用ください。

床暖房用施工のご注意

- 温水マット等、床暖房ヒーター部分への施工法は一般施工とは異なりますのでご注意ください。
施工説明書に従って正しく施工してください。

ノダ木質床材使用上のご注意 ⚠

シミや変色を防ぐためのご注意

●水ぬれについて…

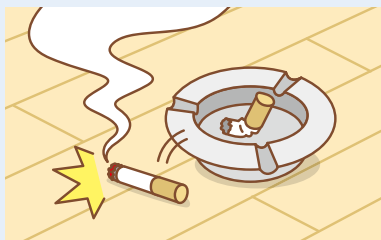


木質床材は水気を嫌います。長時間ぬれたままにしておくと、クラック(ひび割れ)やシミ、変色のものになりますので**すぐに拭き取ってください**。

- 観葉植物等の鉢には、**必ず水受け用の皿等を敷いてください**。
- 窓やサッシ廻りからの**雨の吹き込み**にご注意ください。
- 結露による水滴等にご注意ください。
- 水が飛び散るおそれのある場所では**マットを敷いて保護**してください。また、**保護マットがぬれたときにはその都度乾かしてください**。そのまま放置しておくと**変色やシミの原因**になります。

※よく水のかかる場所、湿気の多い場所には使用しないでください。

●火のついたタバコを落としてしまった…



タバコやアイロンのコゲ跡は**一度ついてしまうと取ることができません**。充分にご注意ください。またタバコの黄色いヤニは、アルコールをふくませた布等で拭き取ってください。

●洗剤や灯油、コーヒー等をこぼした…



薬品、洗剤、灯油、コーヒーや醤油等をこぼした場合は、木目や溝に染み込む前に**すぐに固く絞った雑巾で数回拭き取ってください**。時間がたつと**変色やシミになり取れなくなったり、継ぎ目部分に染み込みフロアへ悪影響を及ぼすおそれがあります**。

キズや凹みを防ぐためのご注意

●キャスター付きイス・車イスについて…

一般フロア(車イス対応)

- キャスター付きのイスや家具は床表面や基材を損傷するおそれがありますので、**使用しないでください**。
- 屋外からご使用になった車イスを乗り入れた際、付着した土砂のため床表面にキズがつくことがあります。**付着した土砂はよく取り除いてください**。

衝撃吸収フロア・防音フロア・直貼りフロア・リフォームフロア

- キャスター付きのイスや家具は床表面や基材を損傷するおそれがありますので、**使用しないでください**。
- 防音フロア、直貼りフロアの車イスの使用は、基材を損傷させるおそれがありますので、**使用しないでください**。

耐凹みキズ・耐車イス対応フロア

- 耐凹みキズ対応フロアであっても、キャスターの繰り返しのご使用や、材質・形状等の条件によってはキズや汚れがつく場合がありますのでご注意ください。(キズが全くつかないというわけではありません。弊社一般フロアと比較してキズがつきにくい床材です。)
- キャスター使用頻度の高い場所では、カーペット等を敷いて保護してください。
- 球状や金属製キャスターは使用しないでください。
- 屋外からご使用になった車イスを乗り入れた際、付着した土砂のため床表面にキズがつくことがあります。**付着した土砂はよく取り除いてください**。



●イスやテーブルによるキズ防止のために…



イスやテーブルを引きずりますとフロアの表面を損傷するおそれがあります。
イスやテーブルの脚にフェルトを貼るまたはフェルト付きのキャップをつけるとキズやへこみを防ぐだけでなく防音上も効果的です。また、ゴム製の保護材は床表面に成分が付着するおそれがありますので使用しないでください。

※フェルトがはがれた場合は貼りなおしてください。

推奨品 和気産業(株)：ワイドフェルトキャップスリム
ワイドフェルトキャップスリム
底面がフッ素樹脂製もごさいます。すべりにくい加工のフロアには、底面がフッ素樹脂製をおすすめします。
<https://www.isu-shizuka.com/>

ひび割れを防ぐためのご注意

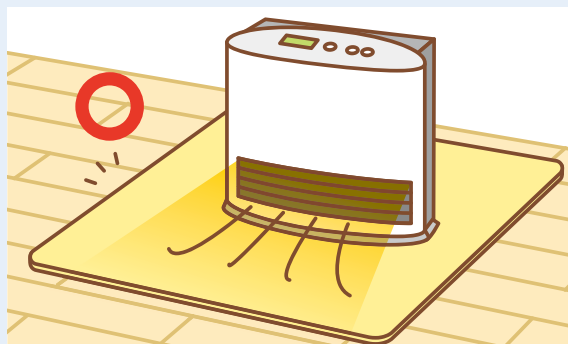
●エアコンを使うときは…



エアコン、暖房等を長時間連続で使用すると室内が過乾燥になる場合があります。乾燥のし過ぎによりフロアの継ぎ目にすき間ができたり、表面にクラック(ひび割れ)を生じたりすることがあります。加湿器等で適度な湿気(約45～70%)を補うようにしてください。

※加湿器の吹出口近くの床面が水ぬれし、長時間放置しますと水が乾燥した跡や、継ぎ目部分から染み込んだ水により、変色やクラック(ひび割れ)が起こるおそれがあります。加湿器の位置を高くするか、吹出口の向きを変えてください。床表面が水ぬれした場合は、すぐに拭き取ってください。

●暖房器具・冷蔵庫について…



温風ヒーターの熱風や蓄熱式ヒーター・反射式ストーブの熱気が床表面に直接あたると、床表面にクラック(ひび割れ)や変色が生じたり、継ぎ目にすき間をつくる原因にもなります。マット等を敷いて保護してください。また冷蔵庫の熱風からも同様に保護してください。

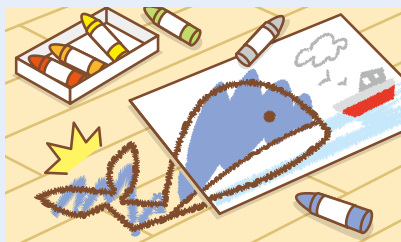
木の床での快適さや美しさを保つために、床への配慮や日頃のお手入れが大切です。

●毛染剤で汚してしまった…



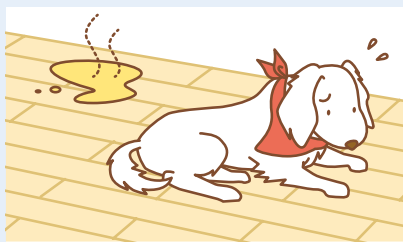
毛染剤や家庭用パーマ液、靴墨等による汚れは**すぐに拭き取ってください**。放置しておくとなれなくなり、シミの原因になります。ご使用の場合は、床にカバー等を敷いてください。

●子供が落書きをしてしまった…



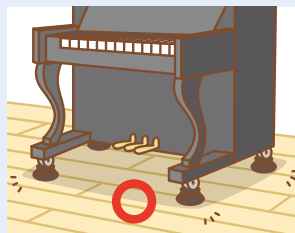
クレヨン、マジック、水性インク等が付着した場合は、アルコールまたはシミ抜き用ベンジンを少量ふくませた布で軽く速やかに拭き取ってください。
※見えない場所等で塗装面に影響がないことを確認してからおこなってください。

●ペットの排泄物について…



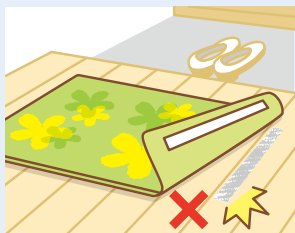
ペットの排泄物を長時間放置すると、においが残ったり、シミ・変色の原因となります。**すぐに固く絞った雑巾できれいに拭き取ってください**。またペット用トイレの周辺にはマット等を敷いておくこともおすすめです。

●冷蔵庫やピアノ等の重量物を置く場合…



冷蔵庫やピアノ等の重量物を置く場合、重量を分散させるために脚部の床上に小幅の板や専用のインシュレーターを必ず置き、移動する場合も必ず持ち上げて移動させてください。
※重量物を置く場合は根太補強等構造上の問題がありますので、施工店様に事前にご確認ください。

●玄関マットやカーペットの固定について…



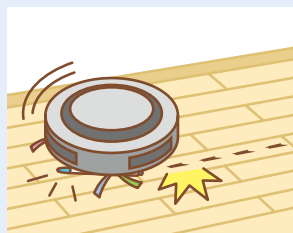
カーペットやマット等の固定に粘着テープ(ガムテープ・両面テープ)を使用しないでください。はがすときに床表面を傷める場合があります。
また、カーペットやマットの種類によっては、床表面がべたついたり色移りする場合がありますのでカーペット、マット類に記載の注意事項に従ってください。
尚、注意事項に従っても表面に異常が見られた場合は、直ちにご使用を控えてください。

●座イスの凹みキズやベットの引っかきキズについて…



背もたれと座面の接続部等で、床に凹みキズを生じさせる座イスがあります。そのような座イスのご使用はおやめください。また、ペットの爪、おもちゃや家具等の引きずりで床表面を傷つける、引っかきキズが発生する場合がありますのでご注意ください。

●ロボット掃除機のご使用について…



ロボット掃除機を使用する場合、ものを引きずったまま走行したりブラシに異物を噛み込んだ場合など、使用状況によってフローリング表面を傷つけることがあります。また、水を噴きつけるタイプ(ウエットタイプ)のロボット掃除機は、フローリングにヒビ割れや変色が生じたり、継ぎ目から水分が入り、膨れ、すき間、表面のはがれなどが生じることがあります。ご使用は、なるべくお控えください。

●電気カーペットについて…



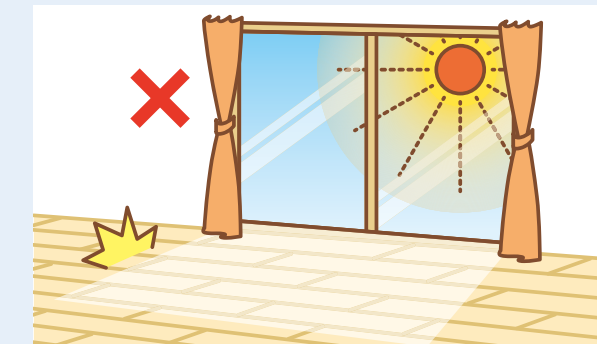
●一般フロア・防音フロア・直貼りフロア・リフォームフロア
電気カーペットと床材との間に熱がこもり、床表面にクラック(ひび割れ)や変色が生じたり、継ぎ目にすき間をつくる原因にもなります。使用しないでください。

●電気カーペット対応フロア

電気カーペット対応フロアでも、ご使用の際は熱が床表面に直接伝わらないよう、**床材との間に断熱性のあるシートやカーペットを敷いて保護してください**。シートを敷いた場合でも長時間のご使用や使用条件によりひび割れやすき間等が発生するおそれがあります。

また、シートやカーペットの種類によっては、床表面がべたついたり色移りする場合がありますのでシート、カーペット類に記載の注意事項に従ってください。
尚、注意事項に従っても床表面に異常が見られた場合は、直ちにご使用を控えてください。

●直射日光・水ぬれについて…



窓際等で長時間直射日光があたりますと、床表面に日焼けによる変色やクラック(ひび割れ)が起きる場合があります。カーテンやブラインド等で遮って、直射日光からフロアを保護してください。尚、直射日光があたりやすいカーテンやブラインドの下部は、フロアの種類に関わらず著しい変色やクラック(ひび割れ)が発生しやすいのでマット等で保護することをおすすめします。光のあたる箇所とあたらない箇所で色差が目立つ場合がございます。ご使用時はマット等の注意事項に従ってください。
窓やサッシ廻り等からの雨水の吹き込みや冬場の結露水にご注意ください。ぬれたまま放置しますと、クラック(ひび割れ)・変色・膨れ等の原因になります。すぐに拭き取ってください。

R-Design

C-Design

木質床材

一般住宅

マンション

直貼り

リフォーム

向け

衝撃吸収

床材

天然木

フロア

化粧シート

フロア

根太施工

二重床施工

捨貼り施工

防音・直貼り

直貼り

上貼り

框・式台

階段・手摺・

室内はしご

内壁材

あかり

サポート

ぬれ縁

ラスカット

構造用

ハイベストウッド

P&C-MJ

SYSTEM

設計・施工

資料編

ノダ木質床材使用上のご注意 ⚠

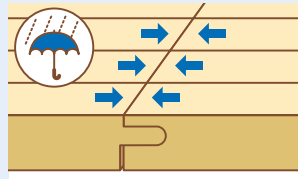
木質床材の特性について

●調湿作用と伸縮性によるすき間・突上げについて…

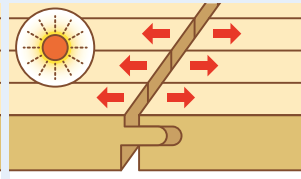
木には自然の調湿機能とこれに伴う伸縮性があります。空気中の湿度が高いと湿気を吸収して伸び、乾燥してくると湿気を放出して縮みます。梅雨から夏場の湿気の多い時期は、含水率(木材に含まれる水分の量)が上がり、床材は伸びます。逆に冬場や床暖房を使っているときは、含水率が下がり床材は縮みます。このように床材は1年を通して伸び縮みしますので、使用条件によりすき間がいたり、多少の突上げが発生することがあります。特に床暖房使用時にはすき間があきやすくなります。床暖房を使用しなくなると徐々に床材が伸びてすき間が小さくなります。木材製品の特性としてご理解ください。

床暖房部分に箱物の家具を置いたり、座布団、布団を長時間敷かないでください。またコタツやカーペット類(電気カーペットや断熱性のあるシート含む)との併用は避けてください。こもり熱により床表面をいためたり、目隙が発生するおそれがあります。床暖房部分にソファ等を置く場合は、脚付きの物をご使用ください。

湿気が多いとき



乾燥しているとき



日常のお手入れ方法



●日常のお手入れ…

日常のお手入れはゴミやほこりを取り除き、乾いた雑巾やモップで拭いてください。(フロア表面が汚れていると抗菌処理部分が覆われてしまい、効果が充分発揮できなくなる場合があります)

- 化学雑巾(モップ)を水ぬれ箇所には絶対に使用しないでください。フロア面が白っぽくなるおそれがあります。
- 化学雑巾(モップ)をフロア上に長時間放置しておくとう変色するおそれがあります。専用の袋等に入れて保管してください。
- 紙製モップ(ワイパー)は繊維が床に引っかかる場合がありますのでご注意ください。
- 塩素系薬剤は、フロアに付着しますと塗膜や表面材の剥がれ、変色、ひび割れ等の不具合が発生するおそれがありますので使用しないでください。(カナエル C 衝撃吸収フロア VC を除く。)

ワックス不要床材

- ラスティック フェイス全商品 ●ナチュラルフェイスS・Jベース ●Jクラレス ●クリアシルキーハード
- メイボクデザイン全商品 ●カナエル R全商品 ●カナエル C全商品
- クオルテ VC ●リフォームフロア リビタ VC

ワックス不要床材のワックスがけについて

- ワックスがけをしなくても日頃のお手入れで充分です。日頃のお手入れの際には、ゴミやほこりを取り除き、乾いた雑巾やモップで拭いてください。乾拭きで落ちない汚れは、固く絞った雑巾で汚れを拭き取ってください。また、汚れに応じて中性洗剤やアルコール等を使用して拭き取ってください。キズがついてしまった場合や軽微なツヤムラがある場合、また長期的にご使用後はP.57に記載の推奨ワックスを塗布してください。
- ワックスがけされますと、フロア表面の艶・手触り感等の美観は本来の製品とは異なり、またフロア表面がワックスの性能になりますので、ご理解の上ワックスを塗布してください。

■抗ウイルス対応フロアについて

- 抗ウイルス対応フロアの表面が汚れていると抗ウイルス効果は発揮されません。
- ワックスがけされますと表面がワックスの性能になりますので抗ウイルス効果は発揮されません。

●ひどい汚れには…

乾拭きでゴミやほこりを取り除いたあと、固く絞った雑巾で汚れを拭き取ってください。また、汚れに応じて住居用中性洗剤を含ませて固く絞った雑巾で拭き取ってください。

- 雑巾は必ず固絞りでご使用ください。水分によりひび割れや黒ずみ、膨れが発生する場合があります。
- 住居用中性洗剤を使用した場合は、最後に固く絞った雑巾で水拭きし、洗剤分を完全に拭き取ってください。(住居用洗剤に使用した雑巾とは別の雑巾をご使用ください。)
- スチーム洗浄機を使用されますと突き上げ、膨れ、ひび割れ、カビ、変色、白化等が生じるおそれがありますので絶対に使用しないでください。

引き渡し前の木質床材クリーニングについてお願い

最近引き渡し時のハウスクリーニングの際、木質床材のトラブルが発生し、お客様にご迷惑をお掛けするケースが増えています。この点に関しクリーニングの際ぜひ守っていただきたい事項をまとめましたので、工務店様、ホームビルダー様におかれましてはクリーニング業者様にご指導いただきますようお願い申し上げます。

発生しているトラブル事例

- 大量の水の使用により、床材が反る、突上げる、床鳴りが発生する。
- 洗剤(アルカリ性)の使用方法が適切でなく、床材が黒く変色する。
- 用途の異なる樹脂ワックスを使用して密着不良、白化、塗りむら、はじきが発生する。
- 樹脂ワックスの塗布方法が適切でなく、床材が膨れる、変色する、床鳴りが発生する。
- 剥離剤を使用して、床材の塗膜を破壊する、床材が膨れる、変色する。

これらのトラブルが発生すると、対応としては床材の張替え等大がかりな工事が必要となります。

床材表面は塗装されていますので表面から水等の浸入は防ぎますが、継ぎ目は実加工のため塗装されていません。このため継ぎ目から水、洗剤、ワックス、剥離剤が浸入すると下記トラブルの原因となります。

抗ウイルス対応フロアについて、ワックスがけされますと表面がワックスの性能になりますので抗ウイルス効果は発揮されません。洗浄作業にてクリーニングしてください。

クリーニングにおける特に重要なポイントは以下の通りです。

- 1) 正しい樹脂ワックスを選定すること。
木質床材用樹脂ワックスを選定(化学床用樹脂ワックスは使用しない)
■推奨品 P.57に記載の推奨ワックスを参照ください。
樹脂ワックスは塗布前に目立たないところで試験塗りをし、塗りむらやはじきがないことを確認すること。
- 2) 洗浄時に多量の水を使わないこと、よく乾燥させること。
- 3) ワックス塗布時に適切な塗布量とし、溝部分に滞留させないこと。
- 4) ワックス剥離剤は使用禁止です。

●清掃作業

1. 床材表面の汚れ・ゴミ・ほこりを取り除く
床材の汚れは、中性洗剤を水でうすめて、固く絞った雑巾で拭き取ってください。
●溝に洗剤が溜まらないよう注意、直ちに拭き取ってください。
●容器は床に直接置かず、ビニールシート等を敷いて置いてください。
2. 水拭き(洗剤液を取り除く)
表面の洗剤が乾かないうちに、きれいな水を含んだ固く絞った雑巾で床材表面の洗剤分を拭き取ってください。
●溝に水が溜まらないように、目地の洗剤分もよく拭き取ってください。
3. 完全に乾燥
部屋の風通しを良くし、床材の目地まで完全に乾燥させてください。
乾きにくいときは送風機等を利用してください。

木の床での快適さや美しさを保つために、床への配慮や日頃のお手入れが大切です。

●床鳴りについて…

音の程度にもよりますが床材の継ぎ目部分がすれて音が発生していることが考えられます。これは木質床材の木の性質としての調湿機能が働き、伸び縮みが生じることによって発生するおそれがあり、特性上やむを得ない現象です。商品の性能、使用上特に問題はありません。その他、水をこぼして長時間放置した場合や、水気の多いお手入れをされた場合等でも起こりますので正しいお手入れ方法をおすすめいたします。

●フロアの虫害について…

床表面に小さな穴があき、木の粉のようなものが出てくる場合がありますが、これは木部についた虫害と考えられます。一般にフローリングは高温高圧工程を経て製造されるため、原材料、製造段階に起因する虫害はありません。流通段階や施工後に外部からの虫の飛来・侵入により、虫害が発生します。万一発生した場合は専用薬剤を散布・注入する等、早期対策が必要です。

専門の業者にご相談されることをおすすめいたします。



●ワックスがけについて

半年に1回程度のワックスがけで床材表面の保護、つやだし効果が保てます。

■推奨ワックス

●キズがついてしまった場合や軽微なツヤムラがある場合、または長期的にご使用後は推奨ワックスを塗布してください。

仕上げ	推奨ワックス	
艶を同程度に上げる場合	ナチュラルック	(株)リスダンケミカル
	ハイテックフローリングコートつや消し40	
艶を高く上げる場合	ハイテックフローリングコート	(株)リンレイ
艶を低く上げる場合	ハイテックフローリングコートつや消し20	

※【ラステックフェイスVC】【カナエルR】【メイボクデザイン】【クオルテVC】を同程度に上げる場合は、「ナチュラルック」のみ推奨となります（ハイテックフローリングコートつや消し40では、艶が高い仕上がりになります）。また、艶が低い仕様のため、ハイテックフローリングコートつや消し20を使用しても艶を低くすることはできません。

- 廊下の端や机の下等、普段歩かないところはワックスが摩耗しないので、何度もワックスがけをすると膜厚が増えて色が変わって見えることがありますので、塗り過ぎにはご注意ください。
- ワックスの使用量は10ml/m²が目安です。
- ロウタイプワックスは使用しないでください。
- ワックスの剥離剤はフロア表面塗膜を侵しますので、絶対に使用しないでください。
- 特に室温が低い場合（5℃以下）や雨天で極端に湿度が高い場合はワックスがけをしないでください。
- フロアコーティング剤（厚塗り表面コート剤）は剥がれ、白化、粉吹き、変色、床鳴り、ひび割れ等の不具合が発生するおそれがありますので使用しないでください。



●ワックスの塗り方

1. 天気の良い日を選びます。

●窓を開けて風通しを良くします。室温が5℃以下のときや、雨天で湿度が非常に高いときはフロア表面が白くなる場合がありますので、ワックスがけは避けてください。

2. フロア表面、目地部のゴミやほこりを取り除きます。フロアの汚れは水を含ませた雑巾で住居用洗剤を含ませた雑巾を固く絞って取り除きます。

●日常のお手入れで化学雑巾をお使いの場合は、必ず住居用中性洗剤（希釈倍率を守ってください）で汚れを落としてください。

●住居用中性洗剤を使用した場合は、最後に固く絞った雑巾で水拭きし、洗剤分を完全に拭き取ってください。（住居用洗剤に使用した雑巾とは別の雑巾を使用してください。）

●溝にも洗剤が残らないように、きれいに拭き取ってください。

3. フロア表面、目地部を完全に乾かします。

4. ワックスを塗ります。

●ワックスをきれいな雑巾に含ませ、しずくが落ちない程度に絞って目地にたまらないよう、木目方向に沿って、薄くムラなく塗ります。

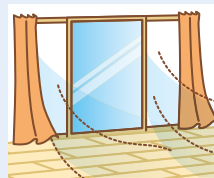
●汚れ落としに使った雑巾とは別のものを使ってください。

●全体を塗る前に部屋の隅で、テスト塗りを行い異常がないか確認してください。

●ワックスは直接床にまかないでください。目地溝部からワックスが浸透し、部分的な膨れが発生するおそれがありますので、絶対にしないでください。

5. 完全に乾かします。

●ワックスが完全に乾くまで自然乾燥してください。ワックスが完全に乾く前に歩いたり家具等を動かしたりすると、塗りムラができたり、ツヤが無くなったりします。ワックスが乾くまで風通しをよくして、乾燥時間は晴れた日の場合、冬場で約50分、夏場で約30分を目安にしてください。



●ワックス塗布作業

1. 作業時の気候

室温が5℃以下のときや、雨天で湿度が極端に高い場合は作業しないでください。ワックスが白化するおそれがあります。

2. ワックス選定

木質床材用樹脂ワックスをご使用ください。化学床用のワックスは膨れ、変色等のトラブルを起こすことがあります。

■推奨ワックス

●キズがついてしまった場合や軽微なツヤムラがある場合、または長期的にご使用後は推奨ワックスを塗布してください。

仕上げ	推奨ワックス	
艶を同程度に上げる場合	ナチュラルック	(株)リスダンケミカル
	ハイテックフローリングコートつや消し40	
艶を高く上げる場合	ハイテックフローリングコート	(株)リンレイ
艶を低く上げる場合	ハイテックフローリングコートつや消し20	

※【ラステックフェイスVC】【カナエルR】【メイボクデザイン】【クオルテVC】を同程度に上げる場合は、「ナチュラルック」のみ推奨となります（ハイテックフローリングコートつや消し40では、艶が高い仕上がりになります）。また、艶が低い仕様のため、ハイテックフローリングコートつや消し20を使用しても艶を低くすることはできません。

ワックスメーカーに確認するとともに、塗布前に目立たないところで試験塗りをし、塗りむらやはじきがないことをご確認ください。

3. ワックス塗布

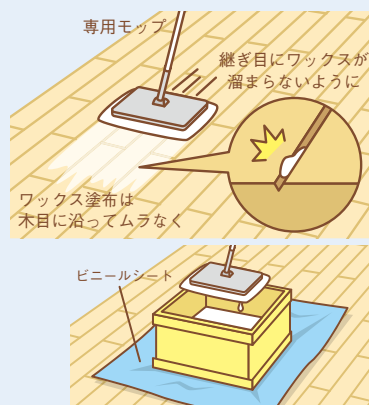
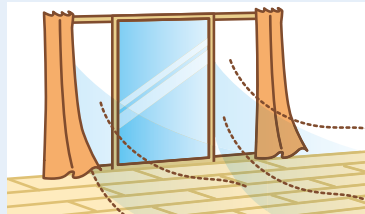
床が乾燥していることを確認。

専用モップに含ませたワックスを木目に沿って薄く、むらなく、目地に溜まらないように塗布する。

●容器は床に直接置かず、ビニールシート等を敷いて置く。

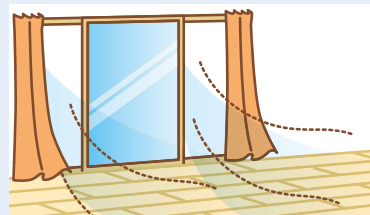
●直接床にワックスをまいて塗布しない。多量に塗布すると床材の膨れ、変色、床鳴り等のトラブルを起こします。

●ワックスの使用量は10ml/m²が目安です。



4. 乾燥

塗り終わったら充分乾燥させてください。



弊社はハウスクリーニングによるトラブルについて責任を負いかねますのでご承知おきください。

R-Design

C-Design

木質床材

一般住宅

マンション
直貼り

リフォーム
向け

衝撃吸収
床材

天然木
フロア

化粧シート
フロア

根太施工

二重床施工

捨貼り施工

防音・直貼り

直貼り

上貼り

框・式台

階段・手摺・
室内はしご

内壁材

あかり
サポート

ぬれ縁

ラスカット

構造用
ハイベストウッド

P&C-MJ
SYSTEM

設計・施工
資料編

床材の特性

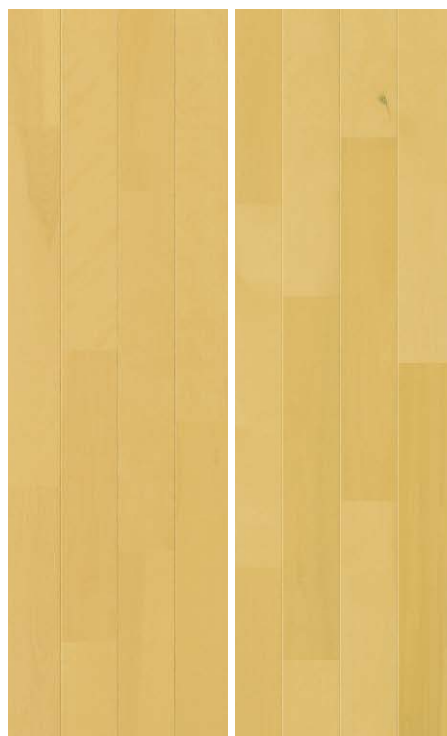
自然から生まれた多彩な表情と 趣あふれる木の個性をお楽しみください

自然の素材である天然木を使用した化粧単板には、同じ木であっても木目や色調に違いが生まれたり、小さな節や入り皮等が含まれる場合があります。また表面塗料の吸い込みが柾目や板目の違いで多少の色の違いが出る場合もあります。天然木ならではの豊かな個性、素材感と風合いを活かした床材であることをご理解いただいたうえでご使用くださいますようお願いいたします。

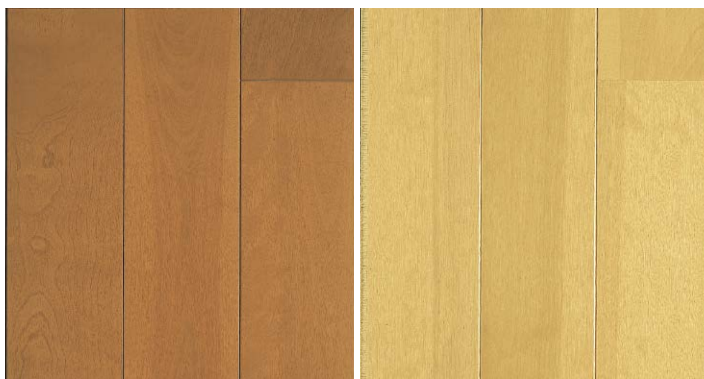
突板の色調(色調のバラツキ) 自然に生まれる色のバラツキ



ピースごとに色の濃淡があります。



源平 1ピースに赤味と白太が混ざった部分 かば材は源平が特に多く見られます。



1つのピースに濃い部分と淡い部分があります。



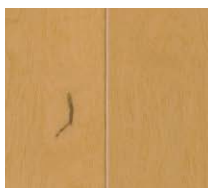
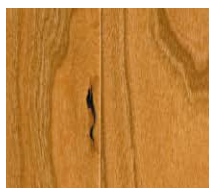
バズアイ



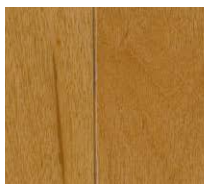
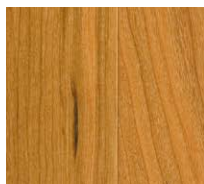
シュガー



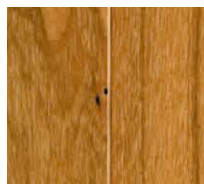
入り皮



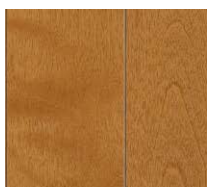
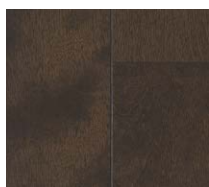
茶筋(ヤニツボ・ヤニ筋)



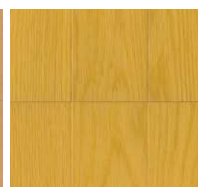
節



てり



溝の色違い



色変化(時間経過による色変化)



※天然木は時間経過とともに変色します。光や熱のあたり方が違う部分、追加で施工される場合等、他の部分との色の差が生じます。
施工時の養生は化粧面を完全に覆う等の対処を施してください。

フラットハードコート製品表面の微細な凸部について

フラットハードコート製品には光の反射で浮かび上がる極めて微細な凸部が発生する場合があります。この微細な凸部の原因としては、

- ①突板の木目の影響による塗膜の“空気だまり”
- ②合板基材から発生する微細な木片や毛羽が塗装時に塗料に混入又は、
フロア表面に付着して凸になる 等の要因により発生します。

「フラットハードコート塗装」はその工程上、従来製品より厚めの塗膜及び表面の平滑性を特色とした製品のため、発生を避けることが非常に困難な製品です。

天然材料のため、ある程度の“バラツキ”は避けられないものの、改善を進めておりますので、ご理解賜りますようお願いいたします。



化粧シートタイプの商品について

化粧シートタイプであっても、節など自然な素材感を追求したデザインもございます。ご理解いただいたうえでご使用くださいますようお願いいたします。

